

令和4年度 小平市立小平第六中学校 学校評価報告書

学校教育目標 ○敬愛 ○勤勉 ○創造

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 ●(生徒)主体的に活動できる明るく生き生きした学校 ●(保護者)安心と信頼があり子供を通わせたい学校 ●(地域)内外に開かれ地域や保護者の支えの下、地域とともに歩む学校
- 【目指す児童・生徒像】 ●生きる力をもつ生徒 ○思いやりのある生徒(敬愛) ○自分の責任を果たすことのできる生徒、進んで学習に取り組む生徒(勤勉)○自己の個性を伸ばし、豊かに表現できる生徒(創造)
- 【目指す教員像】 ●生徒を心から慈しむ理解する ●日々研鑽に努めるとともに協働して磨き合う ●地域を愛し保護者や地域の信頼に応える ●職責の重さを自覚し、コンプライアンスに基づき職務を行う

前年度までの学校経営上の成果と課題

- 【成果】●落ち着いた生活状況により、より良い学習への取り組み状況が見られる。●生徒の自己肯定感の増進による各種活動の活発化ならびに他者理解の促進(研究成果)
- 【課題】●六中スタンダード(より良い授業作りの基本方針)による学習指導力の向上 ●保護者への教育活動へのさらなる理解推進(広報活動の充実)●不登校生徒への働きかけ ●家庭環境の問題による課題のある生徒への対応 ●コロナ禍による行事や諸活動の日程・内容変更による弊害の解消

	第1回評価		成果・課題・対策	第2回評価		学校関係者評価	成果・課題・次年度以降の対策
	取組指標	成果指標		取組指標	成果指標		
学 力 向 上	4	3	【成果・課題】ICT活用の外部講師による研修を計画したが、コロナ禍で行うことができず、校内教員による研修となった。各教員が活用を促進しており、さらに活用できることを模索している。 【対策】各自が行った授業への活用を共有、研修に生かしていく。	3	3	・各学習支援に関する取組(放課後学習教室、土曜学習教室、授業リポート)はある程度予定どおり実施できたこともあり、貢献することができた。 ・学習支援ボランティアの配置は大きい、よりよい人材を探すのが課題である。	【成果・課題】研究の計画がたてにくく、時間の確保も難しく、校内教員による研修を行った。いかに時間を捻出し、設定していく課題である。 【対策】ICT活用は各自が積極的に試行錯誤している様子が見られ、今後共有していくことでさらに発展させていく。
	4	3	【成果・課題】以前より放課後学習教室を開催でき、定期的に継続しているが、コロナ禍の影響もあり利用生徒を増やしていく手立てが必要である。 【対策】学習につまずきのある生徒に対し、継続的に開催するとともにまた、授業改善を継続していく。	3	3		【成果・課題】放課後学習教室も開催を定期的に行うことで継続して参加する生徒もいる。コロナ禍の影響で、学習支援ボランティアが増やすことが難しい。 【対策】放課後学習教室の内容が充実できるよう学習内容の仕方、学習方法を学べる場としても周知していく、学習支援ボランティアが増やしていけるようにさらに推進する。
健 全 育 成 (い じ め 防 止)	4	3	【成果・課題】問題行動に対し共通認識をもち、学年など全体での対応が成果をあげている。委員会活動や読書活動の促進のための取組を模索する必要がある。 【対策】今後も、全職員で全体を見ていく意識のもと、学年を超えた取り組みの充実を図るとともに、保護者との連絡を的確に行い、きめ細やかな対応を心掛ける。朝読書の取組の継続や委員会活動における本の紹介動画の取組の実施していく。	3	4	・自然な挨拶ができる生徒が多い、学校評価アンケートの結果も良好であるのがとても良い。 ・学校の様子がとても良好である。今後も小さいことも見逃さず、取組んでいく。CS委員も全面的に協力をしていく。	【成果・課題】落ち着いた生活が送れている生徒も多い。しかし、学校近隣・周辺の落書き・騒音等があり、関係機関の協力が必要である。小学校から継続しての不登校生徒への対応が課題である。 【対策】生徒自身の心の面での成長を促すとともにおこなえない指導を行う。不登校生徒に対するICT機器の活用による学習の場の確保など支援を充実させていく。
	4	3	【対策】いじめ調査を実施することにより、状況把握に役立てることができた。生徒の様子の変化に敏感になり、情報共有を密にし、対応していく。	3	4		【成果・課題】いじめ防止基本方針を見直しを行い、学校全体で共通理解を深めて、取り組むことができた。日々の生活の中で、いじりや心ない言動で他の者を傷付けてしまう場面が見られる。個別及び全体での指導を積み重ねていく必要がある。 【対策】行事など人との関係性を作れる場の設定や道徳科の授業や色々な指導の場面で心の育成を推進する。
学 校 経 営	3	3	【成果・課題】学校経営協議会委員と定期的に連携を図り、進めることができた。参加者は学校経営協議会委員、管理職、分掌主任(教務、生活指導、進路学習)、学年主任で、情報・意見交換を行う。	3	4	・コロナ禍のため、回数を厳選しながら、学校経営協議会を実施し、連携を密にし、教育活動に連携することができた。良い取組ができるよう連絡を取っていききたい。	【成果・課題】会議の中身を深め、連携を密にし、個々のCS委員とこまめな連絡・情報交換を行い、行事などの手助けをしていただいた。CS委員の人材確保の課題がある。 【対策】CS運営委員会、六中地区CS推進委員会にて実施可能なことを検討し、生徒の学校生活が充実するよう、進めていく。
	4	4	【成果・課題】HPを活用し、情報発信が行うことができた。また、学校メールを用い保護者・生徒との関係づくりに役立てることができた。 【対策】ICT担当が中心となり、HPが誰でもできるよう研修を行い、情報発信を進めていく。	4	4	・学校からの情報発信を頻繁に行ったことで保護者との連携が深まることができた。学校の良さをさらに広めてほしい。	【成果・課題】コロナ禍のため動画配信などHP・学校メールを活用した連絡・情報発信を実施した。閲覧する数も多く、有効な手段となった。さらに工夫できないことはないか検討していきたい。 【対策】今後も、オンデマンドでの教育内容の公開、動画配信、こまめな情報発信など工夫を図り、学校の理解を広めていく。小学校との連携にも活用する。
キ ャ リ ア 教 育	4	3	【成果・課題】福祉の日の取組を検討し、コロナ禍でも継続できるものを模索する。 【対策】福祉園や小平市等と連携した取組の実施を計画する。	3	4	・CS委員が関わる取組が以前よりできるようになってきた。今後の活用に期待したい。	【成果・課題】進路指導、キャリア教育の継続的な流れを整備することができ、学校としての流れが確立できた。ボランティア活動に関し、生徒会が中心になり行ったり、部活が通常に近い形でできるようになったので、今後も地域貢献を検討する。 【対策】地域とともにある学校をさらに深めるために、コロナ禍ではあるが、生徒が中心となる活動を検討し、実施していく。
防 災 教 育	4	3	【成果・課題】コロナ禍のため以前はできないことが多かったが、実施することにより、意識の向上を図っていく。 【対策】多様な形での実施とともに防災教育の機会を積極的に対応し、実施する。	3	4	・避難拠点開設訓練や防災に関する学習などが実施できたのは大きい。今後も継続してほしい。	【成果・課題】全校一斉での避難行動での訓練が実施が通常通り行うことができた。多様な角度から経験できる手立てを模索していく。 【対策】実施内容を工夫し、適宜実施をしていく。防災教育の充実を図る。
働 き 方 改 善	3	2	【成果・課題】通常の時間に戻り、部活動もほぼ通常となった。在籍時間が長時間となっている教職員が増えた。 【対策】部活動の終了を徹底させ、生徒の完全下校することで、部活動指導後は退勤を促す。自己の勤務状況の把握によるタイムマネージメントを推進する。主任等へ資料提示により、組織的動くよう意識付けする。	3	3	・教職員の皆様の時間を惜しまない日々の努力は大変ありがたい。しかし、働き方改革が言われている折、健康面に十分に配慮してほしい。 ・コロナ禍のため放課後の活動が減少され、見直しもされたことは大きいと思われる。	【成果・課題】生徒への多様な対応が増加していることから、時間の有効的な使い方を検討していく。 【対策】今年度の活動を生かし、行事・取組を行っていくとともに、検証をしていく。部活動の終了を教員同士で確認し、生徒の完全下校の徹底を進めることができたので、継続する。また、教員の中には、互いに声掛けをして、業務終了して、帰宅する姿もみられることから、今後も継続するよう推進する。